

見沼中学校区義務教育学校に関する説明会 会議録（北河原小・保護者）

- 1 開催日時 令和2年10月25日（日）午前9時00分～午前11時00分
- 2 開催場所 北河原小体育館
- 3 出席者 保護者25名、一般1名
- 4 教育委員会 鈴木教育長
 学校教育部 吉田部長、荻原参事、諸貫次長
 学校教育課 須永主幹
 教育総務課 上野主幹、久積主査、田沼

5 会議内容

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
鈴木教育長	2 あいさつ
諸貫次長	3 経過報告について説明
鈴木教育長	4 義務教育学校の設立について説明
出席者	5 質疑 他の学校への進学が15%という事だが、減らさないために9年にするという事なのか。全体的に減ってしまうから施設をまとめてしまうという事なのか。他から児童を受け入れるという事だが、他の県内の義務教育学校もやっているのか。受け入れる事によって、生徒数は増えた実績はあるのか。
鈴木教育長	義務教育学校で特認校制度をやっている実例は中々ないが、春日部の義務教育学校では初年度に20名入ったと聞いている。具体的に特認校にして、毎年何人入ったというデータはないが、長野県美麻小中学校では移住者が増えたと聞いている。それだけの実績を上げれば、魅力ある学校にする事で集まってくると思う。
出席者	義務教育学校になって中学校課程の部活は変わるのか。中学生の人数が増えないので、何も意味がないような気がする。望ましい状態にはならないと思う。
荻原参事	現在の見沼中の部活動は Q13 にある。野球も数人しかいない中で練習をしている。その他にソフトテニス、バスケ、バレーがあるが、チー

出席者	<p>ムを成り立たせるのが難しいと聞いている。今後このような人数の中で、部活動はかなり厳しい状況になる。外部指導者に委託するような流れもあり、社会教育との関連になっていく可能性もある。種目については、小さな学校には陸上部などの個人種目やバドミントン部や卓球部などの少人数でも出場ができるような種目が多い。ラケット競技であれば、小学校5年の頃から始めて、技術を磨く事も考えられる。なかなか種目としては難しい所もある。</p> <p>それならば、南河原中と合併した方が良いのではと考えてしまう。人数的には南河原中と見沼中は変わらないと思うので、くっつけば部活動の幅も広がると思う。中学校が遠いのでスクールバスを出してほしい。それが出来ないのであれば南河原中を選べる選択肢も確保してほしい。それがないと中々賛成できない。</p>
諸貫次長	<p>現時点は見沼中学校区だけの義務教育学校を考えている。中学校のバスについては、Q14にも記載してあるが、中学校の通学区域が6km程度としている事から、それを超える場合は調整が必要と思う。南河原中への進学は、保護者の意向を尊重していきたい。</p>
出席者	<p>決定という事で良いのか。</p>
諸貫次長	<p>現時点で可能な区域になっているため、その部分は見直さない。</p>
出席者	<p>義務教育学校が進むという話になっても大丈夫という事か。</p>
諸貫次長	<p>保護者の意向を尊重したいと思う。</p>
出席者	<p>中学校のスクールバスを考えるとというのは、いつ決まるのか。</p>
諸貫次長	<p>通学部会でバスのルートや停留所を検討している。遅くても今年度中にバスルートを確認して、運行に向けて進める必要があると思う。</p>
出席者	<p>中学生のバス利用が駄目という事もあるのか。</p>
諸貫次長	<p>全くなしには出来ないと思っている。距離によって、ある程度の基準は必要にしても、北河原の遠いお子さんについては乗ってもらうように考えている。</p>

出席者	<p>後期課程で南河原中を認めてしまうと、今からやろうとしている義務教育学校がさらに減少傾向になってしまうのではないかと。通学部会で話をしてきた内容と違う気がする。原則、義務教育学校への進学になると聞いていたのだが、認識が間違っていたか。</p>
諸貫次長	<p>北河原は学区としては見沼中学校区となる。義務教育学校については、9年間の連続があるので、小学校の部分だけ義務教育学校に行くというのは本来の形ではないと思う。小学校の部分からどうするかという事も考えないといけない。教育委員会の考えは、連続して9年間見たいと思うが、保護者の意向によっては認めていく事も必要と思う。</p>
出席者	<p>中学校の選択性については、義務教育学校が始まる令和4年4月までであれば、選択はできるのか。明確にしてもらわないと、有耶無耶になってしまう。義務教育学校の後期課程から入る方が、見沼中に関わらず、部活面を考えて南河原中や長野中などに行く事ができるのかをしっかりと確定しておいてもらいたい。</p>
諸貫次長	<p>整理して示していく。</p>
出席者	<p>義務教育学校のメリットはわかった。色々調べたが、専門の先生が教えてくれるので学力向上すると言うが、1学校1クラスしかない学校で十分な教員数を確保できると思えない。今の所、小学校は小学校の免許、中学校は中学校の免許を持っている方でやっていると思うが、両方の教員免許を持っている人は何人来るのか。それが確保できない限りは、専門的な事を教える授業が成り立たないと思う。生徒が知らない先生がいないようにそれぞれの学校から先生が来ると言うが、両方の免許を持っている先生は少ないと思うし、専門的な事を教えるために義務教育学校にするというのは、成り立たないのではないかと考えた。小学校の5、6年生で専門的な教科を教えるという事だが、この規模の義務教育学校では先生の負担が増えるばかりで、カリキュラムを考える余裕がないと思った。1学年3クラスくらいの教員数が確保できるのであれば色々な事を考える時間が出来ると思うが、この規模での義務教育学校では人数が足りずに先生が大変な事が目に見えている。ただでさえ新しい形の学校なので、先生の負担も相当のものだと思う。そこを真剣に考えてもらいたい。予算など色々あると思うが、増築もなくなった。義務教育学校にした学校のアンケートを見たら、校舎の一人当たりの面積があって、広くて、きちんとした施設が整っている学校でないとい学校とは思えないという統計だった。増築もしないような学校に無理やり詰める形で</p>

<p>荻原参事</p>	<p>は魅力ある学校と言えるのかは不安に感じる。小学校のみの統合で良いのではないかという意見も出ているので、考えてもらいたい。</p> <p>義務教育学校では全教員が両方の免許を持っているのが望ましい。春日部の江戸川小中学校では両方の免許を持っている教員を整えようとしたが、中学校のみの先生もいる。中学校の教員が小学生を教えるのは、例えば理科の中学校免許を持っていれば、理科の教科であれば小学校5、6年生には教える事ができる。大前提は両方の免許を持っているという事なので、令和3年度から出来る限り中学校の免許を持っている教員を計画的に人事異動で移していきながら令和4年度には両方の免許を持っている教員が集まるように整えたいと考えている。カリキュラムについては、来年度からの中学校の指導計画を立てている所である。小中が接続できるようなカリキュラムを行田市全体として作っていく。そのカリキュラムに学校独自のものを加えていきながら、新しい学校のカリキュラムに作り直す事になる。3つの小学校から集まるため、必ず北河原小、荒木小、須加小で現在勤めている先生が新しい学校に数人ずつでも行けるような人事異動の計画を立てながら進めていきたい。</p>
<p>諸貫次長</p>	<p>施設面について、ガイドブック6ページに現時点の配置計画を載せた。以前は増築という話だったが、その時には9学年12クラスの見込みをしていた。現時点では10クラス、開校当時に5年生だけ2クラスとなり、現在の校舎の中を工夫して使う事で配置が可能になる。小中一貫教育の区分ごとにフロアに分けて、配置する事が可能である。広いに越したことはないのはその通りだが、それぞれのブロックの活動や違う学年との交流ができるスペースとして多目的室を設ける配置を考えている。中学校だと体育館のフロアがアリーナと柔剣道場の2つあり、広いスペースで活動ができるという部分も中学校で義務教育学校を実施する利点であると考えている。</p>
<p>出席者</p>	<p>義務教育学校に通いたい他学区から生徒を受け入れるとなっているが、逆に他の学校へ行きたい方、他学区からこっちに通わせたい方の統計はとっているのか。新しい校舎にした方が、他学区からも通わせたいと思う。対策が練られていない気がする。行田市全体で新しい校舎ができたら通わせたいと思いますかとかアンケートを取ったりしていないか。</p>
<p>諸貫次長</p>	<p>現時点ではそのようなアンケートは取っていない。他の学区から受け入れるというのは、特認制度でこの学校に来たいお子さんについては募</p>

出席者	<p>集をかけて入学を認める事。現状では、他の学校に行きたい場合は、特別の理由があれば指定校変更という事で認めている。</p> <p>他の学校より魅力を感じない場合、わざわざ他学区から来るという事はほとんどないと思う。アンケートや統計がない中で、言い切れるのは考えづらい。校庭の事が書かれていないが、低学年は遊具を使ったりすると思うので、検討中の資料がほしい。</p>
諸貫次長	<p>他の地区から来てもらえる魅力は必要だと思う。取り組みをPRしながら募集をしていきたい。遊具は必要だと思っている。校庭と校舎の間に小学校用の遊具は設置する計画となっている。校庭を使う活動と仕切らないと危険があるので、その間にフェンスを設ける。</p>
出席者	<p>今後アンケートは取る事は考えているか。</p>
諸貫次長	<p>見沼中学校区の義務教育学校については、検討の余地はあると思う。全体的な方向として見沼中学校区の義務教育学校についてどうかという可能性はある。</p>
出席者	<p>行田市全体で小中一貫校に通わせてみたいかというアンケートをとってもらいたいと思っている。その結果で全体がどのくらいそういう学校を良いなと思っているのかわかるので、他の地域からも取ってもらいたい。</p>
諸貫次長	<p>アンケートを取る場合には、この学区内だけでなく他の学区からというイメージなので、自然とそうなると思う。</p>
出席者	<p>学校内の全体的な配置は決まっているのか。保護者が行く学校行事はたくさんあると思うが、遠い地域からは車で行く事になる。駐車場の整備は考えているか。</p>
諸貫次長	<p>特に保護者用の駐車場は考えていない。乗合で来てもらったり、送って来てもらったり、あとはスクールバスを活用できるのではないかなと思う。</p>
出席者	<p>働いている保護者でスクールバスの集合時間にどうしても間に合わない場合、職場から直接行きたいという方もいると思う。駐車場の確保を踏まえて配置計画をしてもらいたい。あと、学童はどこになるのか。</p>

<p>諸貫次長</p>	<p>専用の駐車場の配置は難しいと思うが、全体の配置計画の中でどのようなスペースをとるか、スクールバスがどこにどのように入ってくるかも考えなくてはいけない。学童は北河原小にないので、南河原小に行ってもらっているが、義務教育学校になった場合は希望する子が全員入れる形で学校内に設けたい。場所的には決まっていないが、校舎内か体育館かを検討していく。</p>
<p>出席者</p>	<p>見沼中の1階の声が4階まで聞こえてくると子どもが言っていた。義務教育学校になると小学校1年生からいるので、8・9年生の受験の子供達にとっては雑音にしかならないと思う。防音的な部分は大丈夫なのか。</p>
<p>諸貫次長</p>	<p>実際に通っているお子さんの声という事で、検討していく。今は1階から4階まで1クラスずつだが、1階の声が4階までかなり聞こえるという事か。</p>
<p>出席者</p>	<p>そう言っていた。小さい子は声が高いので響くと思う。8・9年生の下が5～7年生になっていて、この配置で良いのかなという不安がある。</p>
<p>諸貫次長</p>	<p>意見は参考にする。</p>
<p>出席者</p>	<p>昨日の荒木小での説明会に出席した世帯数はどのくらいか。</p>
<p>諸貫次長</p>	<p>2回に分けて開催した。夫婦で参加している場合もあるので世帯数は不明だが、在校生の保護者29人・未就学の保護者2人・地域3人で34人の出席だった。</p>
<p>出席者</p>	<p>12月議会に提出するのに時間がない気がする。もっと早くやっておけば良かったのではと思う。義務教育学校については、2032年に統合する計画があるので、10年で終わると思っている。実際春日部では低学年用に新築をして綺麗にしている、魅力のある学校と言えると思う。それをやらずに、まして低学年のトイレが1階にしかない。3階に理科室があり、低学年が理科の時間にトイレに行きたくなったら1階に行かなければならない。校舎の改修に関しても多々不安がある。デメリットを調べると、9学年が体育館を使うカリキュラムに大変苦労している。義務教育学校のメリット・デメリットを調べると、デメリットの方</p>

<p>吉田部長</p>	<p>が多い。それが10年でなくなり、新しい学校を作るという事だが、中学校同士の統合や小学校同士の統合の方が、実際に人数が増えると思う。なぜそのような判断が出てこなかったのか。教育長がいるが、最初の説明も資料を読んでいるだけ、答えるのも他の方という事で、教育長は計画に対してどこまで熱意があるのか。本当に良い学校だと思ってやっているのか、上から言われてやっているのか、不信感がある。</p> <p>今の時期になったのは、荒木から要望書、須加から嘆願書の提出があったから。中身は紹介したとおり、荒木は8割が義務教育学校に反対、須加は48%が反対だった。地区の保護者の方の意見を聞く機会があり、義務教育学校がわからないので、もっと深く説明した方が良いのではないかという意見があった。須加の嘆願書の中にも説明が不足しているという意見があった。そのため、取り急ぎ説明会を開催することになった。ここで保護者に説明し、学校を通して義務教育学校に反対か賛成かという意向調査をする。その結果を踏まえて、今後の進め方について検討していく。議会についてだが、義務教育学校で最初に決める事は学校名となる。設置管理条例に学校名の変更を上程する。そこが決まれば計画は進んでいくと考えている。学校名が決まった後に予算などを議会に提案していく。</p>
<p>鈴木教育長</p>	<p>私が教育長になった時に、南河原小と北河原小の統合が難しかった事と、北河原の皆さんの不信感となんとしても複式学級の解消を解消したいという思いを持っている事を聞いた。なぜ駄目だったかを考えた時に、市全体の再編成計画がなかった事、市内全域の小・中学校の今後を考えた計画がなくては進められない結果に至った。市内各地の保護者、地域、学校の代表、学識経験者で作った審議会を通して再編成計画を立てた。教育活動の効果がより上がって、友達もでき、発達段階に応じた子供に寄り添った活動をするためには、基準として学年2クラス規模が必要ではないかという結果になった。市内全域を見た時に、この適切な規模を確保するためには、将来的に中学校は4校、小学校は7校となった。東部・南部・西部は中学校1校、小学校1～2校としても、400～500人の規模が維持できる。しかし、北部は基準に満たないため、最初の段階から北部に学校がなくなってしまう計画になってしまう。それは教育としてどうなのか、学校は地域の力と一緒に作っていくものではないかと考えた。子供がその学校を出る事、その地域で育ててもらう事で地域に愛着や誇りをもって、一度出てしまっても故郷に思いを寄せたり、戻ってきたり、色々な形で子供達の豊かな心が育めるのではないかという観点から、人数を確保する努力と高い教育をして、地域と共に</p>

	<p>作っていく学校として義務教育学校という新たな形を考えた。人や教育の質といった環境の整った中で子供達に誇りをもって9年間過ごしてもらって進学や社会に飛び立ってもらいたい。確かにメリットもあるがデメリットもある。中学校同士、小学校同士でもメリット・デメリットはある。それを一つ一つ話し合いながら、現段階では予算がつく・つかないの問題もあるので検討しますとしか言えない部分はあるが、最大限ギリギリまで努力をしながら、今後の子供達のため、地域のために北部に学校を残したいという思いで義務教育学校を進めている。みぬまグローバル科は小・中の学習指導要領に新たに明記された内容であるので、取り組みをしている学校は全国でも数少ない。それを子供達の希望をもって新しい学校で作っていく、挑戦していくという意味で考えている。不安や疑問はあると思うが、委員会としてもより良い学校になるように努力していく。</p>
出席者	<p>まだ納得はできていない。見沼中に来ている北河原の子もいるし、南河原中に行っている子もいる。荒木から参加しているが、北河原地区にとってどちらが良いかはわからないが、結果として南河原中に行っている実情がある。近いからという意見はあると思う。北河原での議事録を見ると、田んぼ道で落ちたとか危険もある。夏休みの部活や朝練で色々問題はあると思う。そういった所もちゃんと考えてあるのか。問題解決を早くしないと先には進めないと思っている。12月で決まってしまうと、問題解決に至らないのがとても不安。通常、問題点が解決しない限りは進まないと思うのだが、どんどん話が進んでいく。学校名で賛成か反対かだったら、賛成になってしまう。それで義務教育学校が賛成というのはおかしいと思う。本来であれば義務教育学校設立に賛成か反対かの議決を取るべきだと思う。そこをなぜ校名で行ってしまうのか。やり口が汚いと思う。問題解決への取り組みが弱いと思う。</p>
吉田部長	<p>校名については、設置管理条例があり、市内の学校の名前が指定されている。候補の見沼さくら小中学校という校名が議案として提出した場合には、義務教育学校という事で提出する訳なので、そこで議員が議論すると思っている。単に校名を決めるだけでなく、義務教育学校を進めて良いのかを含めて、議論すると思う。</p>
諸貫次長	<p>12月に設置管理条例改正を上程できるかの判断をするために今回の意向調査をする。</p>
出席者	<p>さっきから話を聞いていると北河原地区の説明会で荒木の人が言っ</p>

<p>鈴木教育長</p>	<p>てくれているが、勉強してくれてありがたいとは思っているが、北河原 は現在統合するための事を話し合っている。でも聞いていると、このま まだったら統合中止になると感じてしまった。そういったことはあるの か。もしそうなった場合は、北河原小に通っている父兄の皆さんが荒木、 見沼中を選択せずに、例えば忍中という方向性でみんなが一斉に行くの で、バスをそちらに出してくださいと希望したら、していただけるのか、 という気持ちにもなる。南河原小の時もそうだったが、小学校を閉鎖し て、統合しましょうと8割方決まってきた時にごく一部の方が反対し て、みんなが嫌な思いをして失敗している。今回、見沼中学校区でまと まろう、北河原小も荒木小も須加小も小学校を諦めて統廃合しようとな った時に、なぜ反対をしなかったのだろう。皆がそれでやろうという気 持ちになった時に調べてなかった、勉強してなかったから賛成できな かったという人もいる。ここへきて、二の足を踏んでいる教育委員会の気 持ちもわかる。でも見沼中学校区で統合した場合、北河原の老人が隣の 家の子が運動会だから見に行こうとなった時に見沼中まで行かなけれ ばならない。その辺も考慮してもらって、どこを中心にするべきかを考 えてもらいたい。荒木小を残したいという気持ちがあるのであれば、北 河原小も残してもらいたい。2人でも3人でも少ない人数でやってくれ ている学校もある。こんなに皆さんが言っているのであれば、10年後 まで予算を貯めてもらって、駐車場などもクリアして一気に北小を含め て北部地区をまとめたらどうか。見沼中学校区だけでなく、北小も含め てやってもらった方が納得するのではないかと思う。今通っている子 供達はどうするのか。そこを含めてみんなで本気で考えてもらった方が 良い。聞いていて、どうしたら良いのかわからない。ただ、一つ言える のは守れるのは親しかないと思えた。今後、学校教育には先生に頼って いくが、子供の教育は親がしっかり見ていくべきだなと、今まで以上に 管理しようと思ったくらいで、そこを学校に負担をかけるという考え 方も中にはあると思うが、共働きでないと生活できない方もいるし、子 供の教育の考えもあるし、多方面で色々な事を考えるが、みんなで知恵 を出し合って良い学校にしていけるような方向性で考えてもらいたい。統 廃合がされる方向性でまとまるのか。英語についても韓国では小6で準 2級くらいの能力を得ているが、日本はそこまで達していない。そう いう事を考えると、教育長が考えている英語に対する教育方針については 素晴らしいと思う。</p> <p>委員会としては義務教育学校を進めたいと思っているが、説明会を開 いて保護者にしっかり考えてもらいたい。その結果、立ち止まる事はあ るが、すぐに中止になるかはわからない。一度立ち止まってもう一度皆</p>
--------------	---

出席者	<p>さんの疑問や不安に対してどのようにしていくかを考えたい。もう一つは令和4年4月に複式学級は解消したいと思っている。地域にとっても子供にとっても10年越しの思いだと思っている。今話せるのは、保護者の方に今後の子供達の事を考えてもらって、賛否について考えてもらいたい。</p> <p>保護者に意向調査をするというが、先ほどから保護者がはっきりしてもらいたい部分が2点あると思う。1つは学校選択がどの時点で出来るのか。今の南河原中学校に行く事ができる現状が維持されるのか。先ほどの答えだと今後考えますと言うが、ここをはっきりしないと意向調査に答えられないと思う。もう1つ、中学生にスクールバスを出してもらえるのかについても明言されなかった。義務教育学校に賛成か反対かの大きな要素になると思うので、はっきりと示してもらいたい。教育長が熱弁していたが、義務教育学校設立と複式学級の解消は別のもので、複式学級は解消すべきだと思う。南河原と北河原が解消した後、教育委員会の怠慢で2年間空白があった。やっと動き出したので、解消は早くすべきだと思う。義務教育学校とは別の話なのに、そこを絡めてしまうから、ややこしい話になっている。義務教育学校になったらどのような影響があるのかをはっきり教えてもらえてない。「スクールバスがどうなるのか」、「南河原中に行けるのか」、「行けないなら義務教育学校入学の時に南河原小を選べるのか」について「保護者の意向によって考えます」と話していたが、はっきりと言っていない。これだと意向調査の結果に関係なく、ひっくり返る事があるので、はっきりしてもらいたい。走りながら場当たりの考えるのではなくて、はっきり明言してもらえば、賛成反対をしやすいのではないか。</p>
諸貫次長	<p>学校の選択制は維持する形になる。中学校のバスは先日アンケートをして、中学校の早便のバスを出すという事で通学部会に投げかけたいと思う。距離もあるが、中学生についてもバスを出すという事で進めたい。</p>
出席者	<p>学校選択は維持と言うが、小学校の段階では義務教育学校に入り、7年生で南河原中を選べるという事で良いか。</p>
諸貫次長	<p>1年生で義務教育学校に入って南河原中に行くのは、教育課程上、問題があると思う。小学校の段階で判断してもらう。</p>
出席者	<p>小学校の段階で義務教育学校に入るか、南河原小に入るかを選び、義務教育学校に入ったら9年間必ず行ってもらおうという事で良いか。</p>

諸貫次長	そうなると思う。
出席者	北河原地区は南河原小と義務教育学校の選択肢があるという事で理解した。義務教育学校に入った7年生はバスを出すという事で良いか。
諸貫次長	バスについては、中学生は早便で行ってもらう。そのために便数を増やす形になる。
出席者	小学校と一緒にいう事か。帰りはどうなるか。
諸貫次長	小学校の人数にもよるが、朝は小学生の前に中学生のバスを出す。帰りは部活動の終わりの時間を中学校で合わせる形になる。
出席者	午前3便、午後3便となるか。
諸貫次長	北河原地区は1台で2便、帰りは小学生が終わる時間と中学生の部活が終わる時間となる。
出席者	確認だが、学校は選択できる、義務教育学校になった場合はスクールバスに乗れるという事で良いか。
諸貫次長	バスについては通学部会に諮っていく事になるが、事務局の提案としてはそういった形になる。
出席者	アンケートは小学生対象か。
諸貫次長	明日、子供を通して配布する。未就学児は郵送する。直接関係する来年と再来年に入学する未就学児と小1～中1を対象とする。
出席者	12月に議決されないと先延ばしになるのか、まったくなくなるのか。複式学級は解消されないのか。
吉田部長	議決されないと、このまま計画を進めるのは困難と考える。計画の大きな見直しが必要になる場合もある。ただ、複式学級は令和4年4月に解消を目指したい。その場合に義務教育学校と別の形の再編成を考えないといけない。結果が出た段階で改めて意見を聞きながら進めていきたい。

司会	6 閉会
----	------